

第5回 水海川導水トンネル技術検討委員会 議事概要

■開催日時 令和5年12月5日（火） 13:00～15:00

■開催場所 足羽川ダム工事事務所

■出席委員 砂金 伸治 東京都立大学 都市環境学部 教授
大島 洋志 国際航業(株) 最高技術顧問
日下 敦 国立研究開発法人 土木研究所
道路技術研究グループ 上席研究員
真下 英人 一般社団法人 日本建設機械施工協会
施工技術総合研究所 所長

(50音順、敬称略)



■議事概要

○温見断層の施工について

- ・ 前回委員会で提案された「計測や観察を丁寧に行いながら慎重に施工を行い、地山の状況に応じた対策工を適用する」とした方針に基づき適切に施工がなされた。
- ・ 温見断層の主部以降も、繰り返し出現した破砕帯に対し、湧水対策と脆弱地山対策を併用しながら掘削を進めたことは妥当である。

○今後の施工方針について

- ・ 今後の施工について提案された以下の方針については妥当である。
 - 地山状況は改善傾向にあるが、引き続き長尺ボーリングや中尺ボーリングにより前方の地山状況の予測と地山の水抜きを行い、切羽の状況を見極めながら状況に応じた適切な支保パターンで掘削を進める。
 - 地山状況の悪化が認められる場合は、適切な補助工法の採用を検討する。

○減水注入について

- ・ 減水注入の具体的な方法については、引き続き検討が必要である。

以 上